

# 健康維持・増進希望者様

※令和 2年 1月 1日記付

## 🔥入浴推奨の件

※本装置は「国際特許（PTC）出願：日本国特許取得」と「日本国実用新案権」を合体して創作した世界初の浴用器具装置とっております。

弊所は、過般「特許取得物件」と「実用新案権」を合体し、「磁石の磁気帯を利用して磁化水を造り、更にその該水を曝気・気泡化し機能水を創り」、飲用には当然のこと、且つ「浴用水」として活用したところ、驚愕の検証結果を得ました。

本装置の名称は、「磁化水を介した曝気・気泡風呂装置」で「医療器具的」なものではなく、日本古来の癒しの文化でもある「お風呂」で上記同水に浸り、自己の体温を高めながら免疫力の昂揚を図り、健康を獲得しようと意図し「考案」した器具装置であります。

従って、決してややこしいお風呂ではなく、「先取り予防医学的」な発想入浴法として考え、捉えてくだされば幸いですとっております。

お風呂に入って自己の体温を上げ、免疫力が昂揚すれば、決して健康には逆行はしないこととっておりますがゆえに“

ご希望があり、お申し付け下されば、「浴湯創り」のお手伝いには、「可能な限り」応援にお伺いします。

まずは弊所（松井エネルギー研究所）、ネット上のホームページを参照して下さいるか、下記の携帯へご一報下さい。

必要あらば、手元にある過般実証データ等の持参、又は送達も可能です。

以上

## 🔥お風呂の名称；「磁化水を介した曝気・気泡風呂」

俗称（癒しの特許風呂）

※本装置は「国際特許（PTC）出願：日本国特許取得」と「日本国実用新案権」を合体して創作した浴用器具装置です。

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江7675-4

松井エネルギー研究所

本案発起人：松井エネルギー研究所嘱託研究員；土井 英司

携帯 090-9478-9755

本推奨お風呂用装置は、下壇掲示のとおり



# お風呂に入って免疫力を高め難病を撃退しようの会

## 🔥 「会員募集」について (令和 元年 9月21日記付)

(「体調改善機器製品認定証」を取得する予定)

今般「特許取得」2物件を合体し、磁石の磁気帯を利用して磁化水を造り、更に該水を曝気気泡化して生成水(機能水)を創る浴用器具装置を開発しました。

以来本浴用装置を介して数々の入浴検証を実演し、「安全・安心」そして「健康の保持及び増進」の実証が出来ました。

※本装置は「国際特許(PTC)出願:日本国特許取得」と「日本国のみの特許取得物件」を合体して創作した世界初の浴用器具装置と思っております。

(※本装置は「浴用器具装置」で「医療器具」ではありませんので申し添えます。)

過日の実証事例は、お風呂のお湯を介しての利用であり、「日本古来の伝統文化である入浴(温浴を愉しみながら)」をして、病気に対応する免疫力を高め「健康の維持と向上」を計ることを主眼に、開発した装置で、人さまの健康を「予防医学的な見地」からの応援ができればとの強い想いを抱きながら、昨年(H30年11月吉日)インターネット上で、弊社:松井エネルギー研究所のホームページに実際事例を掲載しました。

※本浴用器具装置に興味のある方は、一度お風呂を体験し、そして入会・不入会のご判断をして下さい。

※入浴体験希望者は、地域特定指定人がお宅を訪問し詳細を説明します。

(令和2年 月 日体験入浴済)

松井エネルギー研究所 特許権者 松井嗣光

\*地域特定指定人 ; 土井英司

①郵便番号・住所 : 〒884-0101 宮崎県児湯郡木城町高城 4001-1

②事業所名 : 🔥土井「癒しの特許風呂装置」賃貸所

③連絡先 : 090-9478-9755

私は本会の「※主旨」を理解し入会します。(退会も自由です)

(※イ・入会者には、本浴用器具入浴関連に伴う特典があります。)

申込者住所 ( )

申込者TEL ( )

申込者氏名(男) 印(年齢 歳)

健康状態→

申込者氏名(女) 印(年齢 歳)

健康状態→

実施期日 年 月 日~同年 月 日までの28日間(※イ左記期間無料)

### ①本浴槽器具装置で提供できる約束

\*あなた様のお風呂に、特殊磁石で磁化水を造り該水を曝気気泡化して「機能水」を創り提供します故に、目的とする体温（舌下温）に挑戦して下さい。（※本件指定人は、「移動式」又は「固定式」の同装置を活用する。該当装置に○×）

### ②本浴用器具装置の使用料

\*入会者は、特典（※イ）として、7行程28日間は「無料」とさせていただきます。（但し現地往復路のガソリン代等の負担は、入浴者側とさせていただきます。）

\*本装置の使用を継続希望される方については、⇒※賃貸又は購入の協議。

### ③本浴用器具装置を介しての入浴条件

※体験入浴を含めて、自己責任入浴として下さらない限り、本浴の提供は出来ません。

\*本浴用器具装置を使用した、時系列経過報告を部分約束して下さること。

**序**（※本会員書は、地域特定指定人が、個人情報法を遵守し保管管理します。）

本ページ以降は「地域特定指定人」の私的な予防医学的な簡略論説と、インターネット上から抜粋した「癌」の温熱療法に関する論説を添付します。

私こと地域特定指定人の「土井英司」でございます。

#### 記

私儀過去に医事関係の業務に携わった経験のない、事実を申しあげておきます。とは言うものの、（私の友人・知人がつい先だって癌で亡くなりました。）

さて、現世の健康事情を見渡すと、悪性腫瘍の「罹患率」二人に一人との厳しい現実、そのため「2分の1」の人は絶対に避けて通れぬ現況の事実。

そんなことから、この種の「病」の予防を民間療法で何とかならないものかと、医療知識のない小生等ではありますが、文殊の知恵を借りながら思案に試案の挑戦を重ね、辿り着いたところの答えは、「いい湯だな あははん・・・」何と「お風呂」でした。

その根拠は、インターネット等の医療文献を拝読すると、向かうところ適なしの凶悪な「ガン細胞」も、実は弱点があるようで、同細胞は、正常細胞と比べると熱に弱いと言う特性を持っているそうです。

※下述は、有名なガン細胞実験です。（文献引用）

「1978年国立予防衛生研究所で、人間の子宮ガンの細胞を；32℃～43℃の間で温度に変化を与えながら、正常細胞と比較実験をしたところ；39.6℃以上にした場合、ガン細胞は10日間くらいで全滅し、他方正常細胞には異常は認められなかった実験の結果を公表しています。」

つまり、高体温だと免疫力が上昇し、病原菌の繁殖を防ぐ活動が高まりそして、最新の研究によると、免疫を担う「マクロファージ」という細胞は、体温が38.5℃になると活性化することが判明したそうです。体温の上昇は、全体の免疫力も高まるということが科学的にも解ってきたそうです。

我々に「即」出来ることは、お風呂に入って体温の一時上昇を獲得し、病魔撃退にチャレンジしてみたらと思う。頑張ろう；気合を入れて。 以上